

教育相談
072-941-3365

情報推進
072-943-5785

研究・研修
072-943-5784

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>
〔教育委員会〕のページよりご覧ください

初任者研修 ～学校における防災教育～

内 容：防災教育学習「学校における防災教育」
日 時：令和2年12月3日（木）15：00～17：00
講 師：八尾市危機管理課課長補佐、係長



初任者研修⑩防災教育学習「学校における防災教育」を実施しました。
この研修では八尾市で想定される災害や災害時の対応、実際の避難所の様子と運営の課題等について、具体的な事例をもとに学びました。

特に今年は新型コロナウイルス感染症により、避難についての考えが改められ、これまでの防災に対する考え方を見直す必要があることも学びました。また、やお防災マップ（ハザードマップ）を使い勤務校の地域ではどのような災害の危険性があるかや、災害時に子どもが自分の身を守る方法について、学校でどのような指導をしていくかなどを考える機会となりました。

初任者からは、「4年生の社会科で防災教育を行ったので、防災マップなど身近に感じ、授業の内容に役立てていきたいと思いました。」「学校にいる間は子どもたちの命を預かっているという意識をしっかりと持ち、常に危機管理を徹底し、子どもの安全を確保する必要があると改めて考える機会になりました。」などの感想がありました。



ICT 担当者研修（Microsoft）

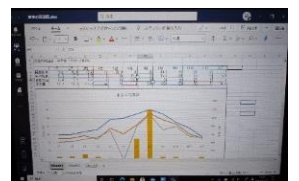
日 時 令和2年11月26日（木）14：00～17：00
会 場 八尾市教育センター 大研修室1

GIGA スクール構想に伴う児童生徒一人一台端末が今年度中に導入される中、ICT 担当者を中心に GIGA スクール構想をふまえた学校 ICT 活用研修を実施しました。本市に導入する児童生徒端末の OS が Windows であり、オンライン会議や共同作業が行える Microsoft Teams などを今後活用することから、教職員にはより一層の ICT 活用能力が必要になってきます。

研修のねらいは、参加した教職員が Teams などの活用方法を理解するとともに、校内の他の教職員にその活用について周知を図ってもらうことでした。

研修講師として、Microsoft のトレーニングパートナーである山口さん（株式会社 内田洋行）により、3時間にも及ぶ丁寧な説明と詳しい内容の資料をいただきました。

受講者からは、「使える機能を上手に使い、働き方改革や他の作業に時間がまわせると感じた」「便利な反面、情報の取り扱いなど、注意深く扱う必要があることも考えさせられました。」などの感想がありました。



特別支援教育コーディネーター研修④

日時 令和2年11月27日(金) 15:30~17:00

会場 八尾市教育センター 大研修室1

特別支援教育コーディネーター研修④として、「各学校の事例の共有を通じて、よりよい支援のコーディネートについて学ぶ」というテーマで、梅花女子大学 教授 伊丹昌一先生をスーパーバイザーに研修を実施しました。



研修を実施するにあたり、「一人の児童生徒への支援」に視点を絞り、個別の指導計画をもとに学校でどのような取り組みを行ったのか、という実践事例シートにて事前に提出し、研修前半ではそれをもとに各学校の実践報告、交流を行いました。好事例についてさらに深めていく話し合い、今後の支援についての相談、お互いへの質問、情報交換など、活発な討議が行われました。

研修後半では、実践事例シートや討議の様子をもとに、伊丹先生より、今後の支援教育実践をさらに深めるうえで大切なことを示していただきながら、すべての学校園の取り組みの良いところ、さらに深めるとよいところなどのポイントを整理していただきました。

受講者からは、「伊丹先生が1つ1つの報告全てにSVをしていただいたことがすごくうれしかったです。また、自身が日々の指導で思い悩んでいたことについてもアドバイスもいただけてとても充実した研修会でした。」「先生のお話を聞き、支援教育で大切なことは、やはり本人の自己肯定感、自己効力感を高めることだと感じました。そのために、本人のプロンプトできることを知り、それを活かした支援をすることで徐々にフェイディングに変えていけるように、今日の学びを活かしていきたいです。」などの感想がありました。

オンライン英会話

令和2年度から全面実施された小学校新学習指導要領において、「外国語」が教科化されるにあたり、昨年度は教育センター指導員とNETが各小学校・義務教育学校(前期課程)を巡回し、教職員・NETの「外国語活動」及び「外国語」の授業づくりについて支援を行うことを目的としたプログラムを実施しました。今年度は、「先生のための英会話セミナー」として市内4地区に分かれての研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施が困難になり、その代替研修として、Teamsのオンライン会議システムを使用した本プログラムを実施することになりました。このプログラムでは、新しい外国語教育が始まる小学校の授業の中で言語活動を行う際に必要と思われる英語力を身につけるため、できるだけ多くの教員が気軽に英語を使える機会を提供することを目的としています。



9月末より開始し、13校の小・中学校より希望があり、延べ49名(12月7日現在)の参加がありました。トピックとしては食物、スポーツ、旅行、趣味、映画等です。

受講者からは、「写真を使いながらのプレゼンテーション形式での英語の発表は私自身が学生している間はする機会がないまま、教師になりました。でも今の生徒たちにはいずれ、プレゼンテーションの機会をつくりたいと考えています。今日はその時の生徒の気持ちがわかった気がします。やはり、しっかりと準備して、気持ちに余裕があると英語もスラスラと出てきやすいと思います。また、自分が好きな分野であれば英語で話をしやすいので、そういった内容で生徒のプレゼンテーションを実現したいな、と感じました。」「英語で準備するのも楽しかったし、そのことが通じたのも楽しかったです。もっと勉強しないといけないと思えるきっかけにもなりました。」などの感想がありました。